

令和3年度 夏季休業期間中の家庭学習の取り組み

教務部 学力向上推進担当

1. 夏季休業の学習結果

(1) 学習時間 (42日間)

学年	目標時間	学習時間	夏季達成率	今年度春季達成率	前年度冬季達成率
1年生	84時間	85.5	101.8%		
2年生	126時間	114	86.6%	83.3%	124.2%
3年生	168時間	226	134.6%	84.1%	87.7%

(2) 明けテスト

学年	国語	数学	英語	社会	理科	夏季平均	今年度春季平均	前年度冬季平均
1年生	77	68	51	57	78	66.2		
2年生	56	81	77	36	64	59.8	70.1	63.8
3年生	72	71	47	71	62	64.4	60.8	64.2

青字は5ポイント以上の上昇 赤字は5ポイント以上の低下

2. 認定者

【認定者数】 1年生19名 2年生5名 3年生23名

認定基準

- (1) 学習時間の到達80% (1日あたり学年+1時間を基準)
- (2) 明けテスト各教科にて達成率80%の両方を満たすこと。

※ 合格者については、9/13(月)全校朝礼での発表と認定証を授与します。

3. 結果の分析

- (1) 1年生は初めての取り組みであったが学習時間は目標を達成できた。長期休業明けテストの結果については、達成度平均80%程度を目安として作成しているテストであるため、それが50%台の英語、社会については課題意識をもつ必要である。英単語や世界の国名など学習の土台となる出題内容であるため、反復練習や学習方法の工夫などにより最低限の知識をしっかりと身に付けてほしい。
- (2) 2年生は昨年度と比較すると学習時間が大幅に低下した。学年が上がり、学習目標時間が1日2時間から1日3時間と上がったことが一因といえる。各教科の達成平均を見ると、社会が36%と非常に低い結果となっている。その内訳をみると過半数の生徒が達成値40%を下回っていた。内容は日本の地名などを問う問題であり、原因は準備不足に尽きる。また既習事項との関連付け、興味をもって学習に臨んでほしい。2学期の奮起を大いに期待している。
- (3) 3年生は学習目標時間の平均が120%を超える達成度となっており、受験生らしい夏休みであったことがうかがえる。各教科の達成平均をみると英語(英単語・熟語)が達成平均47%と不十分な結果となっている。範囲の用語を使用した文章を作成するなど、実践的な活用から理解を深めてほしい。春休み明けテストから、英語の克服が3年生の大きな課題となっている。